

103-246

問題文

この患者で立ちくらみの原因となった薬の作用点はどれか。2つ選べ。

1. アドレナリン α_1 受容体
 2. アンギオテンシンIIAT $_1$ 受容体
 3. H $^+$, K $^+$ -ATPase
 4. シクロオキシゲナーゼ
 5. アンドロゲン受容体
-

解答

問246 : 1問247 : 1, 2

解説

問246

問247 とまとめて解説します。

問247

処方1はそれぞれ、AT $_1$ 受容体拮抗薬で降圧薬、DPP-4 阻害薬で血糖降下薬、血栓予防、PPI で胃酸抑制薬 です。処方2はEPA 製剤で、高脂血症等に用いられます。

前立腺肥大症治療薬の中でも、血圧降下の副作用の原因となりうるものは α_1 遮断薬です。従って、問246の正解は1です。

問247ですが

立ちくらみの原因は血圧降下 ということです。降圧薬であるオルメサルタンの作用点はAT $_1$ 受容体です。また、ナフトピジルの作用点は α_1 受容体です。従って、問247の正解は1,2です。

ちなみに、問246の他の選択肢ですが

選択肢2のデュタステリドは、5 α 還元酵素阻害薬です。

選択肢3,5は

共に抗アンドロゲン薬です。

選択肢4は

植物エキス薬です。